

# 塩竈市議会だより

## 平成29年 2月定例会号

- 平成29年度当初予算及び施政方針概要等 P 2
- 予算特別委員長等報告、請願、意見書 P 3
- 討論、一般会議 P 4
- 施政方針に対する質問 P 5～9
- 議案等賛否一覧表等 P 10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 May.2017 (平成29年5月)  
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/shise/shiogamashi/index.html>



「朴島の菜の花」

### 定例会会議日程

- |     |       |  |
|-----|-------|--|
| 本会議 | 2月21日 | 会期の決定、諸般の報告、請願付託、人事案件採決、平成28年度議案説明、質疑及び採決              |
|     | 2月22日 | 平成29年度議案説明、総括質疑  |
|     | 2月24日 | 施政方針に対する質問   |
|     | 2月27日 | 施政方針に対する質問   |
| 委員会 | 2月28日 | 平成29年度予算特別委員会  |
|     | 3月1日  | 平成29年度予算特別委員会  |
|     | 3月2日  | 平成29年度予算特別委員会  |
|     | 3月3日  | 平成29年度予算特別委員会  |
|     | 3月6日  | 民生常任委員会  |
| 本会議 | 3月8日  | 予算特別委員会委員長報告、討論及び採決、民生常任委員会委員長報告、請願審議及び採決、議員提出議案審議及び採決 |

平成29年2月定例会は、2月21日から3月8日までの16日間の会期で開催しました。

本会議の初日は、請願1件を所管の常任委員会に付託した後、人事案件1件に同意し、さらに、平成28年度議案18件を即日審議の上、原案のとおり可決しました。2日目は、平成29年度議案23件と施政方針が示され、議員8名が総括質疑を行いました。3・4日目には、施政方針に対する質問を行い、議員8名が市長の見解をただした後、設置した予算特別委員会に付託しました。

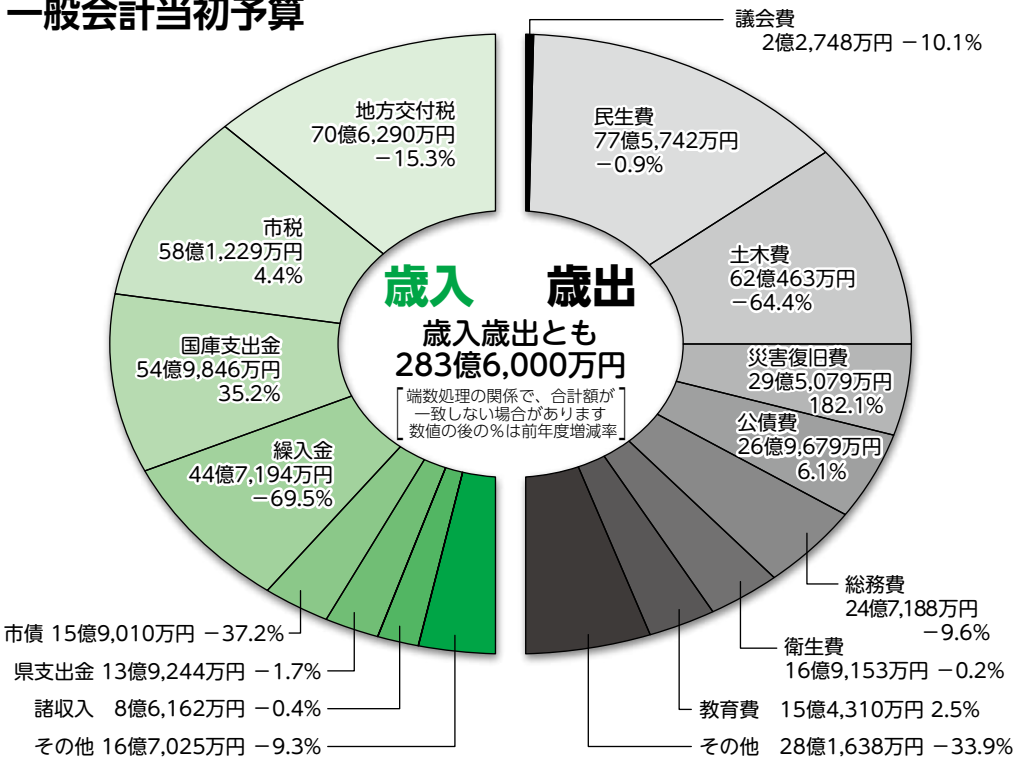
休会中には、予算特別委員会を4日間開催し、付託議案の審査を行いました。また、民生常任委員会を開催し、請願1件の審査を行いました。

最終日には各委員長から審査結果の報告を受け、平成29年度議案23件を原案のとおり可決し、また、請願1件を採択し、議員提出議案2件を即日審議のうえ、原案のとおり可決し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

## 定例会のあらまし

# 一般会計当初予算



平成29年度当初予算は、一般会計が283億6千万円（前年度比27・8%減）、特別会計が209億8750万円（前年度比11・1%減）、企業会計が58億9827万円（前年度比4・2%減）となっています。

**平成29年度当初予算（一般・特別・企業会計）**  
**552億4577万円可決**

## 特別会計・企業会計当初予算

特別会計予算	金額	前年度増減率(%)
特別会計予算	209億8,750万円	▲11.1
・交通事業	3億4,270万円	77.3
・国民健康保険事業	72億7,390万円	▲1.0
・魚市場事業	1億8,140万円	▲29.6
・下水道事業	62億7,720万円	▲29.4
・漁業集落排水事業	2,890万円	▲79.3
・公共用地先行取得事業	1億4,260万円	▲0.6
・介護保険事業	53億2,440万円	5.6
・後期高齢者医療事業	7億3,890万円	0.3
・北浜地区復興土地区画整理事業	4億6,370万円	▲6.3
・藤倉地区復興土地区画整理事業	2億1,380万円	▲40.6
企業会計予算	58億9,827万円	▲4.2
・市立病院事業	30億2,687万円	▲7.3
・水道事業	28億7,140万円	▲0.8

(端数処理の関係で、合計額が一致しない場合があります)

- 【第五次長期総合計画関連】  
だれもが安心して暮らせるまち  
・小学校入学用品購入の一部助成  
・子ども医療費助成事業の対象年齢の拡大  
・がん検診推進事業の継続
- 海・港と歴史を活かすまち  
・新魚市場と仲卸市場を含む
- 【震災復興計画関連】  
住まいと暮らしの再建  
・住宅再建や宅地防災対策に対する支援の継続  
安全な地域づくり  
・津波防災拠点施設の整備  
産業・経済の復興  
・海岸通再開の早期実現  
放射能問題に対する取組  
放射性物質測定検査の継続  
浦戸地区の復興  
・浅海養殖漁業の生産基盤の整備
- 放射能問題に対する取組  
浦戸地区の復興  
・浅海養殖漁業の生産基盤の整備
- 浦戸地区の復興  
・浅海養殖漁業の生産基盤の整備

## 施政方針概要

様々な世代が塩竈に暮らし、幸せを実感できるよう「定住」を促進するための施策を推進するとともに、新年度は、復興の達成に向け、本市に咲かせた復興の花に実を結ばせていく「復興実りの年」としてまいります。

めた「みなとまち塩竈」の新たな観光拠点づくり  
企業誘致による雇用の拡大と地域経済の活性化  
外国人観光客の受入整備  
夢と誇りを創るまち  
本市独自の小中一貫教育による発達上の段差解消  
児童生徒の学習環境の向上

**平成28年度補正**  
**22億5671万円**  
の減額補正予算を可決

平成28年度の一一般・特別・企業会計は22億5671万円の減額予算が計上され、補正後の予算総額は698億3360万円となりました。

まず一般会計においては、東日本大震災復興交付金事業の決算整理及び関連事業などが計上されたほか、高度衛生管理型荷さばき所整備事業など災害復旧関連事業の決算整理に伴う補正等として6億8663万円が減額され、総額18億7354万円の減額予算が計上されました。

また、特別会計においては、10会計の総額で、3億89万円が減額予算として計上されました。

さらに企業会計では、市立病院事業会計と水道事業会計の合計で8228万円の減額予算が計上されました。

これらの補正予算については、定例会初日に上程され、質疑・採決の結果、原案どおり可決しました。

# 予算特別委員会 委員長報告

平成29年度予算特別委員会

では、今野恭一委員長、土見大介副委員長を選任し、23議案を審査、原案のとおり決しました。なお議案第28号に対し、附帯決議を付することに決しました。附帯決議の概要と主な要望意見は次のとおりです。

## 【附帯決議】

●議案第28号「平成29年度一般会計予算」(海岸通地区震災復興市街地再開発事業)

次の事項について6月定例会までに明らかにされたい。

一、具体的な海岸通地区震災復興市街地再開発事業の計画内容

一、海岸通1番2番地区市街地再開発組合の資金計画を含む事業計画

## 【要望意見】

### ●一般会計

▼NEWしおナビ100円パスは試験運行の結果を踏まえ一層の拡充に努められたい。

▼子どもの学習支援事業は、広報等による周知を行い効果的な事業推進に努められたい。

▼生活困窮者自立支援事業は、

相談窓口利用等の周知を行い一層の支援を図られたい。  
▼脳と身体の健康づくり事業は、音楽療法等の取組みも検討されたい。

▼私立認可保育園補助金助成事業は、バリアフリー化に対する補助も検討し、障がい児保育の充実に取り組まれたい。

▼海岸通子育て支援施設整備事業は、現在の定数60名が確保できるような努力されたい。なお、児童の生活リズム等や保育士の業務負担にも十分に配慮し取り組まれたい。

▼休日救急運営事業は関係機関との協議等を行い診療時間の延長等、市民サービスの向上に努められたい。

▼電動フォークリフト導入支援事業は、導入支援に加え、利用者の運用方法等についても指導され、高度衛生管理体制の確立に取り組まれたい。

▼新魚市場展示施設等整備事業は、幅広い年齢層に活用されるよう、一層の交流人口の拡大に努められたい。また、より広い地域の方による利用に向け、周知を図られたい。

▼塩竈市観光振興ビジョン策定事業は、近隣市町と連携を図り、広域観光圏での観光振興の推進に努められたい。

▼海岸通地区震災復興市街地再開発事業は、駐車場等の利用率や施設の維持経費等による具体的な数値に基づく計画とし、一層効果的な事業の推進を図られるよう努められたい。また、見込まれる効果や諸課題についても、わかりやすく発信し、十分な理解が得られるよう努められたい。

▼小中一貫教育推進事業は、児童・生徒間の交流等によるギャップの軽減に努めるとともに教員が児童・生徒に細かく寄り添い「社会をたくましく生き抜く力」が身に着けられるよう努められたい。

▼離島地区通学費補助事業は入学説明会で制度の案内をする等周知を徹底されたい。

●特別会計  
▼交通事業特別会計は、新造船建造事業において浦戸住民との協議を十分に行い浦戸住民の利便性の確保と交流人口の増加に向け取り組まれたい。また乗船までの動線を整備し利便性の向上を図られたい。

▼国民健康保険事業特別会計は、滞納世帯の減少に努められるとともに、短期被保険者証や資格証明書の対象者の減少に向け、きめ細かな相談を行われ、今後の保険税の引き

下げについても検討されたい。  
▼魚市場事業特別会計は、背後地の冷凍冷蔵機能の拡充に向け、国の補助制度等を活用した民間活力による整備を促進し、水産加工の原料確保に努められたい。また、適正な維持管理費の把握に努められたい。さらに、魚市場施設が観光拠点となるよう、魚市場への来場者とそのリピーターの確保に努められたい。

▼下水道事業特別会計は、市民の安心安全に資する能力を有する下水道施設を整備されるよう努められたい。また、不明水調査や管渠等汚泥清掃緊急工事等、さらに徹底されるよう取り組まれたい。

▼介護保険事業特別会計は、



今野委員長による委員長報告

第7期塩竈市介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定業務に当たり、町内会等の地域コミュニティでの若年層や新規加入者が参画しやすい環境づくりに努められ、共助の取組みの強化や、家族介護に目を向けたきめ細かなサービスにも努められたい。

## ●企業会計

▼市立病院事業は、医師の招聘、良質な医療の提供と経営の健全化に向け努力されたい。  
▼水道事業は、今後とも経営の健全化と水の安定供給に取り組まれたい。

## 請願

審議結果は次のとおりです。

### ○採択したもの

▼厚生年金・国民年金等の削減をやめ、最低保障年金制度創設等に関する意見書提出を求める請願

## 意見書

今定例会において可決した意見書は次のとおりです。

▼だれもが幸福を実感できる長寿社会に向けた年金を含む社会保障制度改革に関する意見書

# 討論

3月8日の本会議において、討論が行われました。

その概要は次のとおりです。

## 議案第25号、第28号

### 反対討論

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

議案第25号は、誤って別人のマイナンバーを記載し送付するなどプライバシーが危険にさらされている。また、マイナンバーは政府が個人の情報を紐づけて、全ての行政情報を活用できるように進められており、その漏洩によるプライバシーの侵害が懸念される。

### 賛成討論

議案第25号は、国が定める番号法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもので、情報提供の義務、記録管理、秘密保持等、取扱いの明確化が図られた。セキュリティ面では専用回線の使用や、国での情報一元管理を行わないなど、万全の対策が措置された。全国一律の取組みの中での安定した制度の構築に必要な条例改正である。

議案第28号のうち小中一貫

議案第28号のうち小中一貫教育は、保護者全体への説明と教員の理解が不十分であり、教員の多忙化も懸念される。

また、成長の過程で重要な時期に担任が不在となること、子供たちに心理的な影響を与えることが問題である。さらに、発達障がいを持った児童への対応も危惧される。

技能労務職については職員定数削減と退職者不補充の方針を見直すべきである。

海岸通地区震災復興市街地再開発事業は、塩竈市が買い取り、さらに運営を予定している駐車場の収支計画書がいまだに示されていない。

以上のことから反対する。

議案第28号のうち小中一貫教育は、先行事例に学びながら計画的に準備を進め、教職員同士で現場の実態を細かく分析・評価しながら、教員主体で取り組んでいる。社会をたくましく生き抜く力を義務教育で育成すべきと考える。

海岸通地区震災復興市街地再開発事業は、さきの予算特別委員会付帯決議を付したが、これは委員各位が事業の成功を心から願っているゆえであると考える。

以上のことから賛成する。

議案第28号のうち小中一貫教育は、先行事例に学びながら計画的に準備を進め、教職員同士で現場の実態を細かく分析・評価しながら、教員主体で取り組んでいる。社会をたくましく生き抜く力を義務教育で育成すべきと考える。

海岸通地区震災復興市街地再開発事業は、さきの予算特別委員会付帯決議を付したが、これは委員各位が事業の成功を心から願っているゆえであると考える。

以上のことから賛成する。

議案第28号のうち小中一貫教育は、先行事例に学びながら計画的に準備を進め、教職員同士で現場の実態を細かく分析・評価しながら、教員主体で取り組んでいる。社会をたくましく生き抜く力を義務教育で育成すべきと考える。

海岸通地区震災復興市街地再開発事業は、さきの予算特別委員会付帯決議を付したが、これは委員各位が事業の成功を心から願っているゆえであると考える。

以上のことから賛成する。

議案第28号のうち小中一貫教育は、先行事例に学びながら計画的に準備を進め、教職員同士で現場の実態を細かく分析・評価しながら、教員主体で取り組んでいる。社会をたくましく生き抜く力を義務教育で育成すべきと考える。

海岸通地区震災復興市街地再開発事業は、さきの予算特別委員会付帯決議を付したが、これは委員各位が事業の成功を心から願っているゆえであると考える。

以上のことから賛成する。

## 議案第30号、第35号、第36号

### 反対討論

議案第30号は、本市の財政調整基金残高が県内自治体で2番目であり、税率を引き下げて、被保険者に還元すべきである。さらに、国保県単位化について県は「市町村は納付金に応じて独自に保険料率を設定でき、独自の減免を実施することが可能」と答弁した。市は思い切った国保税の引き下げを行うべきであると考える。

議案第35号は、介護予防・日常生活支援総合事業は報酬や人員基準を切り下げた基準緩和サービブス、ボランティア

などが行うサービスへ移行するもので、社会保障抑制政策により高齢者の福祉、暮らしが守れなくなる。

議案第36号は、昨年11月の社会保障審議会で、低所得者のための保険料を安くする特例措置を段階的に縮小・廃止をすることが決定された。このため、平成29年度は後期高齢者の保険料が引き上げられることとなる。多くの高齢者は毎年、社会保障の抑制政策で負担がふえ、給付は削減され、「もう生きていけない」という声が上がっている。安心して暮らせる医療介護制度に変えるべきである。

以上のことから反対する。

議案第30号は、本市の財政調整基金残高が県内自治体で2番目であり、税率を引き下げて、被保険者に還元すべきである。さらに、国保県単位化について県は「市町村は納付金に応じて独自に保険料率を設定でき、独自の減免を実施することが可能」と答弁した。市は思い切った国保税の引き下げを行うべきであると考える。

議案第35号は、介護予防・日常生活支援総合事業は報酬や人員基準を切り下げた基準緩和サービブス、ボランティア

などが行うサービスへ移行するもので、社会保障抑制政策により高齢者の福祉、暮らしが守れなくなる。

議案第36号は、昨年11月の社会保障審議会で、低所得者のための保険料を安くする特例措置を段階的に縮小・廃止をすることが決定された。このため、平成29年度は後期高齢者の保険料が引き上げられることとなる。多くの高齢者は毎年、社会保障の抑制政策で負担がふえ、給付は削減され、「もう生きていけない」という声が上がっている。安心して暮らせる医療介護制度に変えるべきである。

以上のことから反対する。

議案第30号は、本市の財政調整基金残高が県内自治体で2番目であり、税率を引き下げて、被保険者に還元すべきである。さらに、国保県単位化について県は「市町村は納付金に応じて独自に保険料率を設定でき、独自の減免を実施することが可能」と答弁した。市は思い切った国保税の引き下げを行うべきであると考える。

議案第35号は、介護予防・日常生活支援総合事業は報酬や人員基準を切り下げた基準緩和サービブス、ボランティア

などが行うサービスへ移行するもので、社会保障抑制政策により高齢者の福祉、暮らしが守れなくなる。

議案第36号は、昨年11月の社会保障審議会で、低所得者のための保険料を安くする特例措置を段階的に縮小・廃止をすることが決定された。このため、平成29年度は後期高齢者の保険料が引き上げられることとなる。多くの高齢者は毎年、社会保障の抑制政策で負担がふえ、給付は削減され、「もう生きていけない」という声が上がっている。安心して暮らせる医療介護制度に変えるべきである。

以上のことから反対する。

議案第30号は、本市の財政調整基金残高が県内自治体で2番目であり、税率を引き下げて、被保険者に還元すべきである。さらに、国保県単位化について県は「市町村は納付金に応じて独自に保険料率を設定でき、独自の減免を実施することが可能」と答弁した。市は思い切った国保税の引き下げを行うべきであると考える。

議案第35号は、介護予防・日常生活支援総合事業は報酬や人員基準を切り下げた基準緩和サービブス、ボランティア

などが行うサービスへ移行するもので、社会保障抑制政策により高齢者の福祉、暮らしが守れなくなる。

議案第36号は、昨年11月の社会保障審議会で、低所得者のための保険料を安くする特例措置を段階的に縮小・廃止をすることが決定された。このため、平成29年度は後期高齢者の保険料が引き上げられることとなる。多くの高齢者は毎年、社会保障の抑制政策で負担がふえ、給付は削減され、「もう生きていけない」という声が上がっている。安心して暮らせる医療介護制度に変えるべきである。

以上のことから反対する。

議案第30号は、本市の財政調整基金残高が県内自治体で2番目であり、税率を引き下げて、被保険者に還元すべきである。さらに、国保県単位化について県は「市町村は納付金に応じて独自に保険料率を設定でき、独自の減免を実施することが可能」と答弁した。市は思い切った国保税の引き下げを行うべきであると考える。

議案第35号は、介護予防・日常生活支援総合事業は報酬や人員基準を切り下げた基準緩和サービブス、ボランティア

などが行うサービスへ移行するもので、社会保障抑制政策により高齢者の福祉、暮らしが守れなくなる。

議案第36号は、昨年11月の社会保障審議会で、低所得者のための保険料を安くする特例措置を段階的に縮小・廃止をすることが決定された。このため、平成29年度は後期高齢者の保険料が引き上げられることとなる。多くの高齢者は毎年、社会保障の抑制政策で負担がふえ、給付は削減され、「もう生きていけない」という声が上がっている。安心して暮らせる医療介護制度に変えるべきである。

以上のことから反対する。

議案第30号は、本市の財政調整基金残高が県内自治体で2番目であり、税率を引き下げて、被保険者に還元すべきである。さらに、国保県単位化について県は「市町村は納付金に応じて独自に保険料率を設定でき、独自の減免を実施することが可能」と答弁した。市は思い切った国保税の引き下げを行うべきであると考える。

議案第35号は、介護予防・日常生活支援総合事業は報酬や人員基準を切り下げた基準緩和サービブス、ボランティア

などが行うサービスへ移行するもので、社会保障抑制政策により高齢者の福祉、暮らしが守れなくなる。

議案第36号は、昨年11月の社会保障審議会で、低所得者のための保険料を安くする特例措置を段階的に縮小・廃止をすることが決定された。このため、平成29年度は後期高齢者の保険料が引き上げられることとなる。多くの高齢者は毎年、社会保障の抑制政策で負担がふえ、給付は削減され、「もう生きていけない」という声が上がっている。安心して暮らせる医療介護制度に変えるべきである。

以上のことから反対する。

議案第35号は、総合事業では介護事業者の専門職が行う

## 一般会議

塩竈市議会一般会議を開催しました。

団体名 海岸通1番2番地区市街地再開発組合

日時 平成29年2月10日(金) 午前10時～

午後0時20分

場所 塩竈市役所

北側委員会室

議題 海岸通地区震災復興市街地再開発事業について

団体名 塩釜魚市場水産加工業協同組合

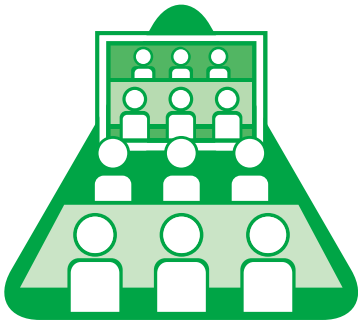
日時 平成29年3月13日(月) 午後2時～午後4時

場所 塩竈市魚市場中央棟大会議室

議題 新塩釜魚市場の水揚げ及び売り上げの拡大を図るために、背後機能である、冷凍等の施設整備の必要性について

※なお、開催された塩竈市議会一般会議の詳細については、今後、塩竈市議会ホームページに掲載する予定になっておりますのでこちらもあわせてご覧ください。

# 施政方針 に対する質問



本会議における市長の施政方針に対する質問は、2月24日、27日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。



公明党  
菅原 善幸

## 海岸通地区の子育て 支援拠点施設は

**議員** 市長は、市政運営の基本方針で「新年度において、人口減少対策と、まちの活力再生に向けた施策を重点化し、定住促進の実現を目指していきます。」と述べ、また、第5次長期総合計画で「多様化する保育ニーズに対応するため、震災復興市街地再開発事業を進められていく海岸通地区に、子育て支援センターや保育所を集約した新しい施設の整備を進め、子育て支援の駅前拠点としてまいります。」と述べられている。

子育て支援センターと保育所を集約する子育て支援施設について伺いたい。

**市長** 海岸通地区に整備する子育て支援施設については、子育て支援センターについては、子育て支援センターこころんを移転し、あわせて新浜町保育所を集約して整備することによって、安心安全な場所

子供たちを健やかに育み、また、子育てに関する包括的な支援を提供できる多機能型の施設を目指している。

また、これまでの屋内だけの活動に加え、場所を移転することによって、屋上を園庭として活用できるため、さらに幅広い活動が展開できるものと期待している。

## 新魚市場に整備する 各施設の活用は

**議員** 本年9月には、南棟2期工事分の整備完了をもって、高度衛生管理体制の新魚市場がいよいよ誕生する。

市長は、「『活力ある産業のまちづくり』として新魚市場に本市の水産業の成り立ちや姿を知っていただくための展示施設を整備し、仲卸市場を含めた『みなとまち塩竈』の新しい観光拠点づくりを進めてまいります。」と述べているが、新魚市場に整備予定の展示施設・調理施設等をどのように活用し、観光客を集めるのか。また、仲卸市場を含めたみなとまち塩竈の観光拠点づくりについて市長の見解を伺いたい。

**市長** 展示施設には、学ぶ・楽しむ・体験するをコンセプトにゲーム感覚で楽しめる漁船の操舵体験機や模型等の整備を検討している。また、調理施設は、仲卸市場や水産関係者などさまざまな団体との共同企画による事業展開をしてみたい。

**産業環境部長** 新魚市場とともに国道から仲卸市場へ至る道路も整備を終えた。さらにクーポンの発券等回遊性を高める施策を検討してまいりたい。



塩竈市魚市場魚食普及スタジオ

- その他の質問項目
- ① 浦戸振興は
  - ② 不登校問題といじめ対策は



市民クラブ  
志賀 勝利

## 施政方針での ベスト3事業は

**議員** 最重要課題のベスト3事業として、定住・住まいと暮らしの再建・産業、経済の復興を挙げていただいた。定住促進について、市長は常々本市の人口は平成7年を境に減少に転じたと話されている。そこで国勢調査の人口統計の数字を見ると平成7年から平成17年までの人口減が4209人、佐藤市政誕生後の平成17年から平成27年の人口減は5170人（961人増）となっている。

市長就任以来、定住人口の促進をうたっているが、その効果については数字が証明している。

**打開策を伺いたい。**

**市長** 定住人口を自然増減と社会増減の2つに分けて分析している。

自然増は、出生者と死亡者との年間約400人の差があ

施政方針に対する質問

り、なかなか歯どめがかからないものと認識する。一方で、社会増減は、増減を繰り返しながらも減少幅が狭まってきている。

自然増減については、地域全体の合計特殊出生率の引き上げが大きな課題であり、妊産婦健診、特定不妊治療等の事業をきっかけに人口減少に歯どめをかけることを最大の目標としたい。

## 経済・産業の振興は

**議員** バブル崩壊前の水産加工品生産額をみると1250億円となっているが、佐藤市長誕生時の平成15年には、660億円、平成24年には530億円台と最盛期から半減している。

さらに、平成9年に2200億円あった商業卸売り小売業の販売額は、平成26年には、1130億円と半減している。

市長は就任以来14年が過ぎ、毎年の施政方針に必ず水産業の振興、地元経済の活性化をうたっているが、振興策の貧困さがこの数字となっているのではないのかと考えるが、



海辺の賑わい地区

見解を伺いたい。

**市長** 東日本大震災によって被災した産業や商業に関わる方々が震災から立ち直るために本市では、5カ年で30億円を超える税の軽減に取り組むなど、本市としてできることはしっかりと支援をしてきた。

また、復興特区やさまざまな制度を計画し、多くの方々が、そういった制度を活用され感謝の声もある。

今後でもできる限りの取り組みに努めたい。

今後、海辺の賑わい地区が塩竈市の都市空間として、どのように活用されていくのかということが最終的な評価になるものと考えている。

## 施政方針に対する質問



市民クラブ

鎌田 礼二

## 歴史的風致維持向上計画は

**議員** 施政方針には、「歴史的な重要建造物の維持・保存に向け、国から助成を受けるために歴史的風致維持向上計画が必要となる」とあるが、勝面楼と灯台の基礎は、歴史的な重要建造物に含まれているか伺いたい。

また、今年の早い時期から勝面楼の解体が決まっていたと聞いたが、これまでの市の対応について伺いたい。

宗教団体が建物の保存や維持のための助成を受けるのは困難であるが、市が所有者から譲り受け修復すれば国からの助成も可能であり、市の観光の目玉になると思うが市長の見解を伺いたい。

**市長** 昨年12月に市の方向性を関係者に伝えたところ、鹽竈神社としては解体の方針は変えないが、解体した部材をストックしていただけるとの

ことであり、部材の活用に向け、県の東北歴史博物館と調査等に取り組んでいる。  
**建設部長** 勝面楼の解体により、ある程度の部材を活用した事業も対象になるが、本計画を策定した上で、個々の事業について国と協議をしていきたい。

## 塩竈市を選んでもらえる事業を

**議員** 市長は、国が掲げる地方創生により、自治体間の競争が進む昨今、「住民が住むまちを選ぶ時代」であると認識しているようであるが、平成29年度の事業が、他市町村と比較し、塩竈市を選んでもらえる事業とはとても思えない。

他市町村とある程度、足並みをそろえることは、もちろん必要ではあるが、その他に塩竈市に目を向けてもらえるような塩竈市独自の施策が必要であると思うが市長の見解を伺いたい。

**市長** 市町村間の競争の時代に入っているということを踏まえ、まずは、人口減少の克服、まちの活力再生を図るべ

きであると認識し、定住促進の大きな課題である子育て世代の定着を図るため、子ども医療費の助成対象年齢の拡大や第3子以降の小学校入学用品購入に対する助成、また、本市独自の小中一貫教育推進事業も本格化していく。  
このようなさまざまな取り組みを同時並行的に進めていくことにより、本市に住んでみたいという方々が一人でも多く出てくるよう努めたい。



小中一貫教育を進める浦戸小中学校

- ① 貞山1号岸壁とマイナス9メートル航路の整備を
  - ② 道路整備を
- その他の質問項目 など



オール塩竈の会  
阿部真喜

## 移住の促進を

議員 第5次長期総合計画の6年目を迎えるが、塩竈市の人口は減少傾向にある。

将来的に充実した市民サービスを提供していくためには、今後の塩竈市の人口を維持、もしくは増加させることが必要である。

そのためには、教育・子育て・福祉などの市独自の施策を積み重ね、総合的に見たときに塩竈市に住み、暮らすメリットを充実させることが必要である。

定住促進とあわせて、塩竈市独自の移住促進対策が必要と考えるが、市長の見解を伺いたい。

市長 塩竈に魅力を感じて移住する場所を提供できるような内々の検討は行っているが、新たな住宅団地開発が期待できる土地が市内には少ないという課題もある。

今後は、比較的人口密度が低い地域を将来の移住先として活用できないか様々な意見を聞きながら、海が見える地域に住め、海のそばに住めるという塩竈の魅力を付加価値としてつけていくような視点を持ちながら、移住者の受け皿づくりに取り組みたい。



住宅街から見る塩竈の海（長沢町）

## 復興に向けたソフト事業を

議員 東日本大震災から6年が経過した。

市内には災害公営住宅が完成し、ハード事業としては7割以上が完成した状況である。市長の施政方針の中に、「復

興実りの年」とあるように、今後はハード事業からソフト事業へと移行していく年といえる。

そこで、ソフト事業については、災害公営住宅以外の分野での事業実施はどのようなものがあるか。

また、市内の事業者や働く方々へのソフト事業として、中小企業向けのメンタルケアの施策を行うべきと考えるが、市長の見解を伺いたい。

市長 ソフト事業としては、復興交付金を活用し、認知症予防のための「脳と身体の健康づくり事業」や水産加工品の販路や輸出の拡大を図る「塩竈水産品ICT化事業」さらには、新たな子育て支援施設の立ち上げ等について取り組みたい。

産業環境部長 メンタルケアについては、これからの塩竈の産業を考える上では必要な部分であると考えている。

今後、様々な方々の意見等の聞き取りを行い、そのニーズや塩竈市としてどのようなことが実施できるのかということについて、今後検討したい。



風の会  
山本 進

## 市立病院新改革プランは

議員 今年、新改革プランの答申があり「市民の命と健康を守る公的病院の使命を全うすべき」との基本方針が表明されたことを踏まえ3点について市長の見解を伺いたい。

①急性期から慢性期、回復期そして在宅訪問診療までを現在の市立病院の態勢、経営上の観点から、維持は可能か。

②改革プラン達成のために何に取り組んでいくのか。

③市長は市立病院の建替えについて「経営が好転したら」と答弁したが、その見込みは。

市長 ①旧塩釜地区2次医療圏で高度急性期医療を賄えない状況だが、この厳しい環境を乗り越え経営継続を可能なものとなるよう取り組みたい。

市立病院事業管理者 ②患者さんの満足度向上に努めるとともに、経営改革の数値目標を掲げ、収入の増加に取り組

んでいる。また、検査機器や薬品購入等を見直し、支出の節減に努めている。

市長 ③試算すると建替え総額は約112億6千万円となり、病院事業債を発行することとなるが、5年間据え置き計30年となる。5年間は年5、6千万円、6年目以降は約4億4千万円となり、病院会計では賄えず、一般会計から繰り出すこととなる。これは塩竈市のおよそ10事業をやめなければならず、大変厳しいものと考えている。

## まちづくりと人材育成を

議員 まちづくりの主役は人であり、塩竈の歴史も人づくりにある。①塩竈市教育大綱を基本として「塩竈独自の小

中一貫教育を推進する」としているが、塩竈独自とは具体的にどのようなものか伺う。

②スポーツ振興について、子供から高齢者までいつでも誰でもどこでもスポーツに親しめる環境の整備は。③伊保石公園にスポーツ施設の整備は④将来のアスリート育成のための子供スポーツ奨学金

## 施政方針に対する質問



グランドゴルフ大会の様子（清水沢公園）

制度を創設すべきと考えるが、市長の見解を伺いたい。

**市長** まちづくりのスタートは学校教育と考える。

**教育長** ①学力向上プランを核に幼保小の連携事業、中学校区単位の交流活動を組み合わせ、県内唯一の全市的な取り組みとして推進したい。

**市長** ②屋外施設は県事業の中の島公園の災害復旧、北浜緑地公園の整備に際して、検討したい。屋内施設は今後の課題として検討したい。③伊保石公園二期工事も計画どおりと理解願いたい。

**教育部長** ④現在は、個人に対する奨学金制度は設けていない。

時代に合わせた授業スタイルの変化とともに、学校環境にも変化が求められるが、その対応策について市長の見解を伺いたい。

**市長** 本市ではICTを活用した「わかる授業」、「魅力ある授業」を実現するために、子供たちが情報を活用する能力を身につけられるよう、情報教育の充実を図ってきた。

小学校のパソコンルームでは平成25年度から1人1台に増設し、中学校ではパソコンルーム以外での活用も図るために、ノートブック型パソコンに機種を変更する等のICT化の推進を行った。

また、今年度においては放課後の学びの時間で活用するために各小学校にタブレット型パソコンを新たに導入した。これらの情報機器の活用はアクティブ・ラーニング授業にも効果的であるとの意見もあり、先生方と協議しながら情報機器の積極的活用と情報教育環境の充実に努めている。

また、今年度においては放課後の学びの時間で活用するために各小学校にタブレット型パソコンを新たに導入した。これらの情報機器の活用はアクティブ・ラーニング授業にも効果的であるとの意見もあり、先生方と協議しながら情報機器の積極的活用と情報教育環境の充実に努めている。

## 学校教育の充実を



第一小学校のパソコンルーム

**議員** 人口減少や少子高齢化が進むとともに、ニーズが多様化している今日、行政は市民や地元事業者と協力し合い、それぞれの役割を意識したま

## 協働で創るまちづくりは

ちづくりを行なっていくかなければならないと考える。

その中で、市民が担う役割とはどのようなものか。

また、行政の市民活動の支え方や、そのための体制について、市長の見解を伺いたい。

**市長** 自治体が果たす役割については、他の自治体では、職員が各担当地域を受け持ち、それぞれの地域のコンシェルジュとして地域づくり活動に関する情報提供、指導を行っている事例もあるが、本市では協働推進室という組織ではないのが現状であり、将来我々もそういったあり方も勉強していく必要があると考える。

いずれ、職員と各地域の担い手の方がさまざまな機会に交流できることが一番大切なことではないかと考える。

また体制については、協働推進室に職員を2名配置している状況であるが、大変多岐にわたる事務を任せているのが現状であることから、組織体制については今後の課題として検討したい。

また、今年度においては放課後の学びの時間で活用するために各小学校にタブレット型パソコンを新たに導入した。これらの情報機器の活用はアクティブ・ラーニング授業にも効果的であるとの意見もあり、先生方と協議しながら情報機器の積極的活用と情報教育環境の充実に努めている。

- その他の質問項目
- ①教員研修は
  - ②塩竈式小中一貫教育は
  - ③職員の育成は
- など

**議員** 新魚市場は、今年10月に供用開始となる。平成28年の水揚げは約104億円だった。新年の魚市場初売りにおいて、塩釜市魚市場卸売協議会会長が水揚げ120億円を目標にする述べた。次の2点について伺いたい。①水揚げ増加対策としてサバの凍結施設の整備をいかに進めるか。②卸売機関の一元化について、両卸売機関と市場開設者である市長との話合いがあったことだが、その認識は一致したか。

**市長** ①従来からの主力魚種であるマグロ類や遠洋底びき網の冷凍魚などを堅持し、新たな柱としてサバなどの青物や冷凍一本釣り船によるカツオの水揚げの強化に取り組む。なお、サバの水揚げは平成28年次の最盛期で約400トンだが、背後地の凍結施設の処

また、今年度においては放課後の学びの時間で活用するために各小学校にタブレット型パソコンを新たに導入した。これらの情報機器の活用はアクティブ・ラーニング授業にも効果的であるとの意見もあり、先生方と協議しながら情報機器の積極的活用と情報教育環境の充実に努めている。

## 新魚市場整備は



また、今年度においては放課後の学びの時間で活用するために各小学校にタブレット型パソコンを新たに導入した。これらの情報機器の活用はアクティブ・ラーニング授業にも効果的であるとの意見もあり、先生方と協議しながら情報機器の積極的活用と情報教育環境の充実に努めている。

また、今年度においては放課後の学びの時間で活用するために各小学校にタブレット型パソコンを新たに導入した。これらの情報機器の活用はアクティブ・ラーニング授業にも効果的であるとの意見もあり、先生方と協議しながら情報機器の積極的活用と情報教育環境の充実に努めている。

また、今年度においては放課後の学びの時間で活用するために各小学校にタブレット型パソコンを新たに導入した。これらの情報機器の活用はアクティブ・ラーニング授業にも効果的であるとの意見もあり、先生方と協議しながら情報機器の積極的活用と情報教育環境の充実に努めている。

施政方針に対する質問





海岸通地区震災復興市街地再開発事業 (完成イメージ)

### 海岸通地区震災復興市街地再開発事業は

理能力は約200トンであり、凍結施設の強化は喫緊の課題である。  
②卸売機関の一元化は、先日、両卸売機関の代表者と話をしたが、これから両卸売機関とともに問題解決に向けた努力をしていく内容であり、見解が全く一致したということではない。

議員 平成29年2月8日、海岸通1番2番地区市街地再開発組合の臨時総会が開かれ、すべての議案が了承され、1街区の事業棟が4階建てから

2階建てに変更し、事業費も39億6500万円に圧縮された。平成28年度当初予算8億2664万円から新年度当初予算は6億4659万8千円となった。1街区2街区の補償費4億円、1街区の建物除却費2400万円が明確になった。そのうち、市の単独費について伺いたい。

市長 再開発事業の全体事業費を約39億円となり、減額された総事業費に対する補助金の合計金額は約19億2400万円で、復興交付金15億3900万円、市の支援補助金が3億8500万円となる。再開発組合が今年度を実施予定の事業に対する補助金6億4659万8000円の主な内訳は、地権者への補償費4億310万1000円、1番地区住宅等工事費1億8257万7000円、2番地区商業施設工事費2981万円、工事管理費1822万円である。  
震災復興推進局長 今年度分の市の支援補助金は、1億2857万円である。

- その他の質問項目
- ① 災害公営住宅の地域交流は
  - ② まちなか居住再生検討事業は
  - ③ 小中一貫教育の目標は など



日本共産党 塩竈市議員 小高洋

### 保育所施策は

議員 新年度の保育所施策について、年度途中も含めた待機児童ゼロに向け、また基準外の「隠れ待機児童」と呼ばれる児童も含め、保育士確保など、保育の機会確保への施策について伺いたい。また、障がいを持つ児童を受け入れ、現在の私立認可保育園に対して、現行の制度では、補助金の制度など、支援の手が行き届いていない懸念があり、しっかりと支援できるような施策を一貫して求めてきたが、今回の見直しを受けてどのように変わるのか伺いたい。

市長 待機児童対策として低年齢児保育の受け皿確保が必要であり、認可外保育所から小規模保育所への移行や私立幼稚園から認定こども園の移行等、事業者側に働きかけていく。また、市の保育士採用試験のほか、臨時保育士の確

保、宮城県保育士人材バンクや保育士養成校等を通じての求人、さらに潜在保育士や保育士退職者へ働きかけ等を実施している。  
障がい児保育や低年齢児保育への対応として、平成29年度から保育制度を見直し、障がい児保育と低年齢児保育に対する補助を制度化した。

### 本市独自の小中一貫教育は

議員 来年度より本格実施となる本市独自の小中一貫教育について、教員・児童生徒も含めた具体的な取り組みについて伺いたい。また、児童生



小学校乗り入れ授業風景 (第一小学校)

徒に接する取り組みの基本は、児童生徒一人ひとりの事情に寄り添った教育大綱が基本だが、そのためには、日常的な教員の多忙化の解消が必要と考える。さらに、実施に伴って教員のさらなる多忙化の懸念もあり、その解消への取り組みについて伺いたい。加えて、少人数教育制度・35人学級制の推進について伺いたい。  
市長 本市が目指す小中一貫教育は、塩竈市教育大綱を具現化するものである。具体的には、塩竈市学力向上プラン、塩竈市幼保小連携事業、及び中学校区単位の小中一貫交流活動に取り組む。教員の多忙化は、中学校の部活動指導に外部講師の派遣や時間の縮減等を指導しており、また、小中一貫教育による小中学校教員の相互乗り入れ授業に対応した非常勤講師を配置する。少人数教育制度は、本市の87%の学級が35人以下の少人数学級だが、今後、国・県の学級編制弾力化事業拡大を要望する。

- その他の質問項目
- ① 子ども医療費助成は
  - ② 放課後児童クラブは
  - ③ 子育て支援施設は など

# 議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対 /：議長は採決にわかりません

会議名	議案番号 議案名	議員氏名	日本共産党 塩竈市議団		公明党			市民クラブ			オール 塩竈の会		風の会		つなぐ会		審議結果		
			曾我ミヨ	伊勢由典	小高洋	浅野敏江	小野幸男	菅原善幸	鎌田礼二	志賀勝利	今野恭一	志子由吉	菊地進	香取嗣雄	阿部かほる	西村勝男		阿部眞喜	伊藤博章
議案第 1 号	塩竈市営住宅条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 2 号	平成28年度塩竈市一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 3 号	平成28年度塩竈市交通事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 4 号	平成28年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 5 号	平成28年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 6 号	平成28年度塩竈市下水道事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 7 号	平成28年度塩竈市漁業集落排水事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 8 号	平成28年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 9 号	平成28年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	平成28年度塩竈市北浜地区復興土地区画整理事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	平成28年度塩竈市藤倉地区復興土地区画整理事業特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	平成28年度塩竈市立病院事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	平成28年度塩竈市水道事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	工事施行協定の一部変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	工事請負契約の一部変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	工事請負契約の一部変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	財産の取得について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	塩竈市手数料条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
2月 定例会	議案第20号	塩竈市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第21号	塩竈市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第22号	水道料金の額の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第23号	塩竈市地域支え合い推進協議体設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第24号	塩竈市農業委員会の委員の定数条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第25号	塩竈市個人情報保護条例及び塩竈市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第26号	塩竈市市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第27号	塩竈市公平委員会の事務の委託に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第28号	平成29年度塩竈市一般会計予算	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第29号	平成29年度塩竈市交通事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第30号	平成29年度塩竈市国民健康保険事業特別会計予算	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第31号	平成29年度塩竈市魚市場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第32号	平成29年度塩竈市下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第33号	平成29年度塩竈市漁業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第34号	平成29年度塩竈市公共用地先行取得事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第35号	平成29年度塩竈市介護保険事業特別会計予算	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第36号	平成29年度塩竈市後期高齢者医療事業特別会計予算	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第37号	平成29年度塩竈市北浜地区復興土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第38号	平成29年度塩竈市藤倉地区復興土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第39号	平成29年度塩竈市立病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第40号	平成29年度塩竈市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第41号	浦戸地区辺地総合整備計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出 議案第 1 号	市長の専決処分事項を指定することについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第 2 号	だれもが幸福を体験できる長寿社会に向けた年金を含む社会保障制度改革に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

**編集後記**

市議会だより第208号をお届けいたします。東日本大震災から6年が経過いたしました。新年度は、10年にわたる復興期間の総仕上げに向け、「復興実りの年」として市民の皆様や本市を訪れる全ての皆様と塩竈の復興と再生を一緒に実感していただけますよう議員一同努めてまいります。

議会報編集委員会  
委員長 小野幸男

次回の定例会は  
**6月15日(木)**  
午後1時開会予定です

**市議会会派構成**

4月1日現在の会派構成（届け出順）は次のとおりです。（○は会派の代表者）

- 日本共産党塩竈市議団 ○曾我ミヨ 伊勢由典 小高洋
- 公明党 ○浅野敏江 小野幸男 菅原善幸
- 市民クラブ ○鎌田礼二 志賀勝利 今野恭一 志子由吉 菊地進
- オール塩竈の会 ○香取嗣雄 阿部かほる 西村勝男 阿部眞喜
- つなぐ会 ○伊藤博章 山本進 土見大介